

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6059 URL http://www.uchiyama-gr.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 山本武博 (TEL) 093-551-0002
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,631	11.0	1,122	21.5	1,233	33.7	1,435	200.3
25年3月期第2四半期	9,579	—	924	—	922	—	477	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,444百万円(202.9%) 25年3月期第2四半期 476百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	309.87	309.13
25年3月期第2四半期	106.58	105.68

(注) 平成24年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	24,877	11,891	47.8
25年3月期	25,522	10,540	41.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,891百万円 25年3月期 10,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,623	13.3	2,230	15.1	2,359	21.9	2,034	47.7	439.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	4,632,700株	25年3月期	4,632,700株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	94株	25年3月期	35株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	4,632,643株	25年3月期2Q	4,484,753株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください
- ・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果が徐々に現れ、輸出企業を中心に一部の企業で業績に改善がみられるなど、景気回復の兆候が見られています。

一方、世界経済におきましては、原油の高騰・欧米諸国の財政問題・中国経済の失速など、景気の下振れが懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

国内の本格的な景気回復までにはまだ、一定程度の時間を要するものと思われませんが、徐々に個人消費の動きなどに改善が見られており、今後経済政策の効果が鮮明になるにつれ、雇用環境及び所得等も改善に向かうことが期待されております。

このような経営環境下におきまして、当社グループは、各セグメントにおきまして、事業戦略に基づく営業活動等を積極的に推し進めてまいりました。また、事業間のシナジー効果を向上させる取り組みとして、飲食事業所属の料理人が介護施設に出張し、入居者に対して「まぐろの解体ショー」等のケータリングを積極的に行いサービスの付加価値を高めるなどしたほか、カラオケ事業、飲食事業間において、2次会の利用促進を行い顧客の回流による集客の向上をはかるなどしました。

経費面におきましても、コスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化をはかりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,631,354千円（前年同期比11.0%増）、営業利益は1,122,329千円（同21.5%増）、経常利益は1,233,083千円（同33.7%増）、四半期純利益は1,435,505千円（同200.3%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①介護事業

介護事業におきましては、6月にグループホーム及び小規模多機能型居宅介護施設の併設施設を2施設新規開設いたしました。これらにより、当第2四半期末時点での営業拠点は54ヶ所109事業所となりました。また、前期に開設した施設の入居が進捗したこと及び「さわやか新門司館」（福岡県北九州市門司区）が4月より特定施設入居者生活介護の指定を受けることが出来たことなども、売上高や利益向上の要因となりました。既存施設におきましては、空室を減らすために、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進することで入居率の安定化を目指しました。これらの結果、売上高は5,055,248千円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益は557,214千円（同11.3%増）となりました。

②カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、4月、6月、8月にそれぞれ1店舗新規開店いたしました。一方で契約期間満了に伴い7月に1店舗、8月に1店舗の退店を行っております。これにより、当第2四半期末時点での店舗数は86店舗となりました。また、既存店舗におきましては、飲み放題のコースなどの獲得強化に努めたほか、前年から引き続き65歳以上向けの特典である「さわやかゴールドメンバーカード」会員の獲得を推進するなどしてリピートの増加に努めました。この結果、売上高は4,286,419千円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は873,865千円（同21.8%増）となりました。

③飲食事業

飲食事業におきましては、5月及び6月にそれぞれ1店舗の既存店舗リニューアルを行いました。なお、新規出店は行ってないため当第2四半期末時点での店舗数は26店舗となります。また、リニューアル工事期間中におきましては、当該店舗の営業を休止したため、売上高及び利益減少の要因となりました。既存店舗におきましては、集客が減少傾向にあるため、タイムサービスの実施による集客の増加をはかったほか、法人顧客の獲得を目指し、企業訪問をするなどして、宴会需要等の獲得に努めました。この結果、売上高は1,005,589千円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は96,991千円（同15.9%減）となりました。

④その他

その他におきましては、ホテル事業において、円安の影響による国内旅行の活性化に伴う需要の獲得を目指し、広告媒体を活用し宿泊客の増加に努めました。不動産事業では、賃貸マンションの管理業務などを中心に行っております。この結果、売上高は284,097千円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は34,332千円（同31.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ645,736千円減少し、24,877,246千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より1,315,896千円増加し、12,153,487千円となりました。主な要因は、現金及び預金、販売用不動産が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より1,961,632千円減少し、12,723,758千円となりました。主な要因は、建物及び構築物、土地が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,997,020千円減少し、12,985,572千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より916,341千円増加し、7,354,384千円となりました。主な要因は、短期借入金、未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より2,913,362千円減少し、5,631,187千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より1,351,284千円増加し、11,891,674千円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は47.8%となりました。

また、資金の流動性については、当第2四半期連結会計期間末における流動比率は、165.3%となっており、今後、十分な流動性を確保するために、比率を高めてまいります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて330,036千円増加し、7,588,591千円(前年同期比2.4%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、370,266千円(前年同期比68.3%減)となりました。収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益2,498,423千円、減価償却費の計上555,813千円であり、支出の主な内訳は固定資産売却損益1,286,647千円、たな卸資産の増加614,042千円、法人税等の支払額704,510千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、2,565,520千円(前年同期は1,511,874千円の使用)となりました。収入の主な内訳は有形固定資産の売却による収入4,584,022千円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出1,529,118千円、定期預金の預入による支出363,906千円、敷金及び保証金の差入による支出183,921千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,605,751千円(前年同期は2,602,808千円の獲得)となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入1,260,000千円及び短期借入金の純増減額761,348千円であり、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出4,241,851千円、割賦債務の返済による支出268,777千円、配当金の支払額92,533千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成25年10月21日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,806,551	9,409,034
売掛金	1,145,803	1,213,900
商品	62,131	60,617
販売用不動産	15,078	630,635
貯蔵品	39	39
その他	839,556	871,538
貸倒引当金	△31,568	△32,277
流動資産合計	10,837,591	12,153,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,603,077	4,073,733
土地	3,540,298	3,195,891
その他(純額)	1,147,095	1,862,315
有形固定資産合計	11,290,471	9,131,939
無形固定資産	41,893	41,381
投資その他の資産		
その他	3,442,926	3,639,208
貸倒引当金	△89,899	△88,771
投資その他の資産合計	3,353,027	3,550,437
固定資産合計	14,685,391	12,723,758
資産合計	25,522,983	24,877,246
負債の部		
流動負債		
買掛金	319,466	261,979
短期借入金	1,303,650	2,064,998
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	1,889,574	1,739,151
未払法人税等	760,418	1,043,811
賞与引当金	142,173	153,389
ポイント引当金	235,897	230,777
その他	1,751,863	1,825,277
流動負債合計	6,438,043	7,354,384
固定負債		
社債	105,000	87,500
長期借入金	6,740,158	3,908,834
資産除去債務	155,908	162,799
その他	1,543,482	1,472,053
固定負債合計	8,544,549	5,631,187
負債合計	14,982,593	12,985,572

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,360,519	1,360,519
資本剰余金	1,814,476	1,814,476
利益剰余金	7,361,992	8,704,845
自己株式	△42	△237
株主資本合計	10,536,945	11,879,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,974	12,071
繰延ヘッジ損益	△1,529	—
その他の包括利益累計額合計	3,444	12,071
純資産合計	10,540,389	11,891,674
負債純資産合計	25,522,983	24,877,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,579,242	10,631,354
売上原価	8,052,643	8,885,336
売上総利益	1,526,598	1,746,017
販売費及び一般管理費		
給料手当	138,509	133,128
賞与引当金繰入額	5,577	6,860
貸倒引当金繰入額	5,326	1,065
その他	453,114	482,634
販売費及び一般管理費合計	602,527	623,687
営業利益	924,071	1,122,329
営業外収益		
受取利息	4,649	6,357
受取配当金	996	1,104
補助金収入	36,805	129,990
その他	99,865	80,038
営業外収益合計	142,316	217,490
営業外費用		
支払利息	98,010	85,230
その他	46,310	21,506
営業外費用合計	144,320	106,736
経常利益	922,067	1,233,083
特別利益		
固定資産売却益	—	1,298,696
特別利益合計	—	1,298,696
特別損失		
固定資産売却損	—	12,048
固定資産除却損	427	21,307
特別損失合計	427	33,356
税金等調整前四半期純利益	921,639	2,498,423
法人税、住民税及び事業税	579,186	1,004,380
法人税等調整額	△135,523	58,537
法人税等合計	443,662	1,062,918
少数株主損益調整前四半期純利益	477,976	1,435,505
四半期純利益	477,976	1,435,505

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	477,976	1,435,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,678	7,096
繰延ヘッジ損益	1,463	1,529
その他の包括利益合計	△1,214	8,626
四半期包括利益	476,761	1,444,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	476,761	1,444,132
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	921,639	2,498,423
減価償却費	573,817	555,813
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,348	△419
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,397	11,216
ポイント引当金の増減額(△は減少)	66,841	△5,120
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,286,647
固定資産除却損	427	21,307
受取利息及び受取配当金	△5,645	△7,462
支払利息	98,010	85,230
売上債権の増減額(△は増加)	△68,736	△68,096
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,140	△614,042
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,400	155,338
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,781	△57,487
その他	392,514	△131,203
小計	1,931,497	1,156,851
利息及び配当金の受取額	2,946	4,557
利息の支払額	△92,838	△86,631
法人税等の支払額	△675,068	△704,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,166,536	370,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,225,279	△1,529,118
有形固定資産の除却による支出	—	△10,000
有形固定資産の売却による収入	—	4,584,022
無形固定資産の取得による支出	△13,739	△4,458
定期預金の預入による支出	△247,846	△363,906
定期預金の払戻による収入	89,000	80,259
敷金及び保証金の差入による支出	△68,296	△183,921
敷金及び保証金の回収による収入	145	14,775
貸付けによる支出	△28,932	△10,508
貸付金の回収による収入	21,621	19,711
その他	△38,547	△31,334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,511,874	2,565,520

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△122,500	761,348
長期借入れによる収入	3,415,878	1,260,000
長期借入金の返済による支出	△1,521,150	△4,241,851
社債の償還による支出	△17,500	△17,500
リース債務の返済による支出	△1,161	△1,161
割賦債務の返済による支出	△298,217	△268,777
株式の発行による収入	1,239,328	—
自己株式の取得による支出	△42	△194
配当金の支払額	△73,320	△92,533
その他	△18,504	△5,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,602,808	△2,605,751
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,257,470	330,036
現金及び現金同等物の期首残高	5,154,071	7,258,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,411,541	7,588,591

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,245,356	4,042,303	1,038,009	9,325,669	253,572	9,579,242	—	9,579,242
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,042	19,471	20,514	32	20,546	△20,546	—
計	4,245,356	4,043,345	1,057,481	9,346,183	253,605	9,599,788	△20,546	9,579,242
セグメント利益	500,634	717,271	115,306	1,333,212	26,050	1,359,263	△435,191	924,071

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ホテル事業及び通信事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△435,191千円の内容は、セグメント間取引消去224,356千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△659,548千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	計				
売上高								
外部顧客への売 上高	5,055,248	4,286,419	1,005,589	10,347,256	284,097	10,631,354	—	10,631,354
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	414	26,816	27,231	25	27,256	△27,256	—
計	5,055,248	4,286,834	1,032,405	10,374,487	284,122	10,658,610	△27,256	10,631,354
セグメント利益	557,214	873,865	96,991	1,528,071	34,332	1,562,403	△440,073	1,122,329

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ホテル事業及び通信事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△440,073千円の内容は、セグメント間取引消去230,651千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△670,725千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。